NPO法人庄和ふる里を守る会

ふる里庄和

２０２６年４月
２０号
令和８年

「NPO 創立 10 周年となりました！」

創立当時はこんな感じで活動していました。法面、用水路の中までゴミの収集をしました。農村公園はさくらの記念樹を植える前なので、今と比べると木が少ないです。２０１８年（平成 30 年）に市民からの愛称応募により、名称がこれまでの「農村公園」から「庄和道の駅さくら公園」に変わりました。

桜並木は毎年、色とりどりの花（水仙、曼殊沙華、コスモスなど）を咲かせて、散歩する市民の目を楽しませています。年々、散歩する市民は増えています。

会員から一言

「NPO 法人庄和ふる里を守る会　祝十周年」

顧問　石原弘

20 年位前の話になりますが、松吉・佐藤・中西氏の三人が相談に来られました。「地域で何か役に立つことをしたい」という趣旨でした。それから熱心なボランティア活動を続けられての十年余り。この間ボランティア活動の貴重な経験を積まれ、自信を持って立ち上げたのがこの『NPO 法人庄和ふる里を守る会』であったと認識いたしております。尊いことです。この間代表者等も代変わりしましたが、今日までの堂々の活動展開に、多少ながらもかかわった者として感無量でございます。

申すまでもなく、ボランティア活動は、会員は勿論、地域の様々な協力者あってこそ成り立ちます。会員の皆様の真摯さ、団体会員・賛助会員様方のお力等々に…庄和を巖とするコミュニテイの深まりを強く強く感じる昨今です。我が粗末な事務所も、会員の会議などに提供いたしておりますが、皆さん散らかった農の屋敷へ喜々として来られます。実家に帰ったようだ…そんな笑顔で。余生を楽しく…社会貢献を出来る幸せ・健康的に老いる幸せ・友と行動できる幸せ…なんと素晴らしいことでしょうか！　願わくは、「担い手の裾野がますます広がって欲しい」との一言でございます

（石原氏の記念植樹）

終わりに皆様方のご健勝と会のますますのご発展を祈します。

会員から一言

「桜堤の思い出からのボランティア」

会員　平野保次

昨年の「公民館まつり」にて、内田さんから、NPO 法人「庄和ふる里を守る会」の活動を知る機会を頂きました。昨年３月に現役生活を終え、次は地域のためにボランティア活動で恩返しをしないと考えていた折りでもあり、大変ご縁を感じております。私の実家は、桜堤の近くにあり、子供の頃は、桜の木もない土手の斜面に座って魚釣りを楽しんでおりました。

近年、自然の中に桜や草花が植えられ四季折々の美しい景観が広がり、ふる里への愛着が一層深まっております。これまでも、会員の皆様が桜堤や周辺で清掃や花植えなどの活動をされている姿を拝見し心より感謝しておりました。その様な折に「ご都合のつく時に参加してみては」と、お声がけ頂き入会させて頂く事を決めました。地元で育った１人として、まだ体力には自信がありますので、清掃・花の手入れ等、微力ながらお役に立てればと存じます。この会の活動に積極的に参加し、皆様と交流を深めながら、楽しく充実した日々を過ごしていきたいと考えております。

今後とも、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

会員から一言

「公園に携わってきた日々」

会員　田邉　八重子

私が、市民大学に６期生として入学した後、何かボランティアをしたいねえ、という話がありました。友達の友人から誘われ、集まったメンバーに、当時の農村公園（現在さくら公園）のボランティア活動参加の呼びかけがありました。農村公園とよばれていた場所、私は知りませんでしたが、行ってみたら、ヘドロの匂いが酷く、とても汚れていました。それから、両岸の清掃、川さらい、伐採、川の清掃、桜の木の間に彼岸花、スイセン等を植え、草を刈り、男性は用水路の中に降り作業していました。でも少しずつきれいになると、汗を流しながら、みんなで作業した事は、喜びと嬉しさで、今では楽しかった思い出です。

そして、17 年ボランティアの会「美しいふる里を守る会」が結成されました。今でも、この公園の活動には、予定がない限り参加しています。自分が、初めから参加したボランティア活動に、愛着を感じています。歩けるうちは公園にきて、草取りしながら、皆さんと会ってお喋りするのが、とても楽しいし、気持ちも元気になれます。友達に、公園の草取りをしている事を話すと、素晴らしい事しているね、と言ってくれます。そんな言葉にも元気をもらって、さくら公園に、これからも参加していこうと思っています。

周辺施設の紹介　（株）桐 の 樹 環 境

昨年、年の瀬も押し迫ったお忙しい中、快く取材に応じていただきました。今回は、庄和道の駅さくら公園の道路を挟んで、向かい側にある白い塀に囲まれた【（株）桐の樹環境】という会社を、ご紹介いたします。この会社は庄和地区全域を対象に・可燃ごみ・不燃ごみ・資源ごみを回収しています。　毎朝、朝礼の後 AED を搭載したブルーの塵埃車で、私達が出す生活ごみの収集に走りまわっています。

設　　立	平成　22年　２月
対 象 所 帯 数	16,147所帯
所　有　車　両	11台
従　　業　　員	15名（平均年齢５０歳代）

市民へのサービスに重点を置き、・町もきれいに・気持ちもきれいにをモットーに、ごみの片付けを行っています。駅周辺に、マンション・住宅が増えて人口が増えると、ごみの量が増え２トン車＝６トン⇒８トンと車両が大きくなります。

夏休みになると、ペットボトル・可燃ごみ・資源ごみ・不燃ごみも増えます。ごみの回収に対してお願いしたいのは　○ゴミ出し時間を厳守してほしい　○分別をきちんとしてほしい。　昨今は、リチウム電池が発火原因になり事故等につながるので、とても神経を使っています。○「ご苦労様」と、ねぎらいの言葉をいただくと励みになります。皆様ブルーの塵埃車で作業をしているのを見かけましたら、ねぎらいの言葉をお願いします。

会員の紹介

「俺もちょっと手伝いたい！」　　会員　安藤 弘二

現在、市民大学 24 期の一年生です。今まで桜並木や公園の散歩でなにげなく見ていました。ベンチに座りながら、「素敵な桜だなー！」「こんな所にいい場所あるじゃん。」「わざわざ遠くまで行かなくて良い。」なんて見てたら、「この公園を誰かが整備し、清掃し、守っているんだ！」と気になりました。興味が湧いてきて、写真を撮るだけじゃなくて、ゴミのひとつでも拾って帰ろうと思いました。

こんな思いから、市民大学の講座で「NPO 法人庄和ふる里を守る会」の紹介があった時、抵抗なく入会させていただきました。今日（12 月 13 日の定期活動）は剪定した藤棚の枝を、束ねて縛る作業でした。少々腰が痛くなりましたが、楽しかった。

どうぞよろしくお願いいたします。

＜桜並木にあるベンチ＞

ご支援を頂いている 団体賛助会員様

＊ 受付登録順

- 庄和商工会
- （株）道の駅庄和
- （株）桐の樹環境
- 金崎区　（自治会）
- （有）庄和商事
- 関東いすゞ自動車㈱ 春日部支店
- 庄和中央病院
- 埼玉みずほ農協 庄和中央支店
- 小笠原医院
- 上柳区　（自治会）

○ 個人会員（2月１日 現在）　正会員 ８３名　賛助会員９３名

「ＮＰＯ法人庄和ふる里を守る会」からの報告

1．１月３１日に４０名の会員が出席して恒例の「新年会」を開催しました。市川さんのクラリネット演奏、豆取りゲーム（５チーム対抗）及びビンゴゲームなどを行い、和やかな雰囲気と会員交流のひと時を持ちました。ＮＰＯ結成時の会員や今年入会した会員などバラエティーに富む会員の集まりでした。

2. 当会は 2005 年にボランティア活動として始まり、NPO 法人となってから 10 年が経ちました。多くの方に支えていただきながら、会を継続できていることに感謝です。

【編集／発行】　ＮＰＯ法人庄和ふる里を守る会 「ふる里庄和」編集委員会
〒３４４－０１２１　春日部市上柳１８３
（TEL）090-7903-3971